



Japan  
Food  
Research  
Laboratories

## 試験報告書

第 201061491-003 号

依頼者 株式会社 スリーケーコーポレーション

検体 ミラクルランDJ-1

試験項目 抗菌力試験

平成 13 年 06 月 22 日 当センターに提出された  
上記検体について試験した結果は次のとおりです。

平成 13 年 08 月 10 日

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号  
大阪支所 〒984-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号  
名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号  
九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号  
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号

## 抗菌力試験

### 1 依頼者

株式会社 スリーケーコーポレーション

### 2 検体

ミラクルランDJ-1

### 3 試験目的

検体の抗菌力を試験する。

### 4 試験概要

検体に大腸菌，サルモネラ及び黄色ブドウ球菌の菌液を加え（以下「試験液」という。），室温で保存した。保存30分，1，2，4及び6時間後に試験液1 mlを採取し，生菌数を測定した。

なお，本試験は依頼者指定の方法により行った。

### 5 試験結果

結果を表-1に示した。

表-1 試験液1 ml当たりの生菌数測定結果(依頼者指定法)

試験菌	対象	生菌数(/ml)					
		開始時	30分後	1時間後	2時間後	4時間後	6時間後
大腸菌	検体	***	0	0	0	0	0
	対照	∞	***	***	***	***	∞
サルモネラ	検体	***	0	0	0	0	0
	対照	∞	***	***	***	***	∞
黄色 ブドウ球菌	検体	***	0	0	0	0	0
	対照	∞	***	***	***	***	∞

\*\*\*：試験実施せず

∞：測定不能

対照：精製水

## 6 試験方法

### 1) 試験菌株

*Escherichia coli* IF0 3972(大腸菌)

*Salmonella enteritidis* IF0 3313(サルモネラ)

*Staphylococcus aureus* subsp. *aureus* IF0 12732(黄色ブドウ球菌)

### 2) 試験菌液の調製

各試験菌株をBrain Heart Infusion Agar(Difco)で35 °C 18~24時間培養後、菌体をリン酸緩衝液に浮遊させ、菌数が約 $10^6$ /mlとなるように調製し、試験菌液とした。

### 3) 菌数測定用培地及び培養条件

標準寒天培地[栄研器材株式会社]、混釈平板培養法(35 °C 2日間)

### 4) 試験操作

検体27 mlに試験菌液3 mlを接種し、試験液とした。これを室温で保存し、保存30分、1、2、4及び6時間後に試験液1 mlをシャーレに採取し、菌数測定用培地を用いて試験液1 ml中の生菌数を測定した。

なお、対照として、精製水を用いて同様に試験した。対照については接種直後及び6時間後について生菌数を測定した。

以 上